

(財)水島地域環境再生財団 2008年度(平成20年度)事業報告書

1 地域再生

公害地域の再生にむけ、「地域の研究機関」として研究をおこなうとともに、共に協働して事業がおこなえる地域の人材養成・ネットワーク形成のための「支援組織」としての役割をも担う。(中長期計画目標)

1. 地域の研究機関としての役割

水島地域を中心として、岡山県内を拠点とする地域の研究機関としての役割を担う。「水島のまちづくり」「公害・地球環境」「高梁川・瀬戸内海の環境再生」「コンビナート研究」を大きなテーマとして、新たな課題の発掘やその解決にむけた調査研究、提言、解決にむけた体制作りなどをおこなう。(中長期計画目標)

* 四角で囲んだものは、中長期計画で示した目標

水島のまちづくり

10年目をむかえた八間川調査を中心とした「水島のまちづくり」を考える上で貴重な地域資源について、富士フィルム助成を活用して、引き続き調査するとともに、地域の小中学校と連携し、水島と八間川に関する教材を作成し、普及した。また、まちづくりに関わる行政の計画等へのパブリックコメント等を提出した。

6月8日(日) 第39回八間川調査 参加者：14名

8月17日(日) 第40回八間川調査 参加者：16名

10月25日(土) 第41回八間川調査 参加者：15名

3月8日(日) 第42回八間川調査&報告会『八間川の自然と歴史を学ぶ教材を作りました』 参加者：のべ50名

「倉敷市景観計画」へのパブリックコメント提出(11/17)

公害・地球環境

日本環境会議水島大会の事務局を担い、実行委員会を毎月行うなかで、3日間の大会を盛会に開催した。現地実行委員会や水島まちづくり研究ワーキンググループを組織するなかで、地域でのネットワーク構築に努めるとともに、水島の現状や課題を改めて整理することができた。またそれらの水島を中心とした国内の研究者等へ情報発信をおこなうことができた。

9月20-22日(土-月) 日本環境会議水島大会 開催 参加者：300名

全体実行委員会(8/23)

現地実行委員会(4/26, 5/24, 6/28, 7/21, 9/15, 11/29)

また、近年オキシダント情報・注意報の発令が頻発する状況から、10年ぶりにおこなう二酸化窒素実態把握調査の実行委員会に参加し、倉敷市内を中心とした大気汚染状況の把握につとめた。さらに、岡山県が示した公害防止計画素案に対して、意見の提出を行うなど、政策提言をおこなった。

6月9-10日(月-火) 二酸化窒素実態把握調査

二酸化窒素実態把握調査実行委員会(4/22, 5/20, 6/24, 7/8, 7/22, 9/9)

「岡山・倉敷地域公害防止計画(素案)」に関する意見書提出(1/16)

高梁川流域と瀬戸内海の環境再生

地球環境基金の助成事業を活用して浅口市寄島町での海底ゴミ実態把握調査等を継続して実施するとともに、「海域を活用した環境学習プログラム検討会」を開催し、アマモや海底ゴミ、漁村体験といったテーマの環境学習プログラムを完成した。

2月24日(火) 海底ゴミ撮影調査実施(於: 黒崎~寄島)

3月1日(日)「第6回海域を活用した環境学習プログラム検討会」開催

瀬戸内海の環境再生に関連する委員会に委員として参加するほか、他の団体からの委託や協力など調査をおこなった。

- ・ 備讃瀬戸環境修復協議会味野湾部会(主催: 国土交通省宇野港湾事務所)に委員として参加(11/19, 3/9)
- ・ 「海辺の生きもの調査」(主催: 環瀬戸内海会議 於: 通生・高梁川河口干潟)に開催協力(9/13)
- ・ 「海辺の漂着物調査」児島釜島(委託元: 環日本海環境協力センター(NPEC))年4回(6/27, 9/27, 12/19, 3/16)実施
- ・ 瀬戸内海海ごみ対策検討会(主催: 環境省中国四国地方環境事務所)に委員として参加

第4回 瀬戸内海海ごみ対策検討会(2009/2/19)

合同部会(6/3, 2009/1/22)

また、情報収集のために、各イベントに参加し、団体との交流を深めるとともに、一般市民向けのイベントでの展示や、国際会議で事例報告等を行うことで、国内外に向けて情報発信・啓発を行った。

7月13日(日) 環瀬戸内海会議シンポジウム(於: 山口県祝島)に参加

7月17~31日 「海の絵本展示会」開催(協力: 倉敷市立水島図書館)

10月3日(金) 海ごみサミット in 鳥羽(主催: 鳥羽市, JEAN・クリーンアップ全

国事務局)に参加

10月27~30日(月~木)第8回世界閉鎖性海域環境保全会議(EMEC S8)(主催:国際エメックスセンター 於:上海)に参加,事例報告

12月5~6日(金-土)全国アマモサミット(於:横浜)に参加

12月20日(土)海洋ごみフォーラム(主催:瀬戸内海環境保全協会 於:高松)に参加

12月21日(日)「高梁川がむすぶ『うみ・まち・やま』シンポジウム」(主催:環境省中国四国地方環境事務所)にパネラーとして参加

コンビナート研究

水島地域におけるまちづくりの研究を行うための「水島まちづくり研究ワーキンググループ」の継続的な開催をするとともに,日本環境会議水島大会において,その成果を報告した。また,研究成果を1枚のマップにまとめ,水島大会のオプションツアーなどで活用した。

水島まちづくり研究ワーキンググループ打合せ(4/11・21,5/8・20・29,6/6・24・,7/7・29,8/8・25・28,9/8・17,10/9・29,12/11,2/3・23,3/5・30)

「水島地域の環境・まちづくりマップ」発行(9/18)

あわせて,既往研究の整理として,「水島地域・コンビナートに関する文献・資料を読む会(昼読会)」を毎月第2,4火曜日に実施した。これらにより従来の研究の整理が進むとともに,水島地域への理解が深まり,研究の論点が整理された。

昼読会(4/8・22,5/13・27,6/10・24,7/8・22,8/12・26,9/9,10/14・28,11/11・25,12/9,2/10,3/10)

2. 人と人,組織と組織をつなぐ支援組織

共に協働して事業がおこなえる地域の人材養成をおこなうとともに,地域にある組織(企業や行政も含む)・個人の強みをそれぞれ活かし,それをかみ合わせ,つないでいく役割を担う。(中長期計画目標)

中間支援組織

中間支援として,市内の環境団体・個人に働きかけて組織した「倉敷環境市民会議」の運営をおこなった。月1回例会を実施し,情報交換等をおこなった。また2002年から実施している「環境月間における倉敷市との懇談会」では,バックキャストの考え方を導入し,倉敷市内の環境問題について行政と懇談をおこなうことができたが,今後のすすめかたなどに課題が残った。あわせて倉敷市環境審議会の傍聴もかかさず行った。

6月30日(月)第6回環境月間における倉敷市との懇談会

打ち合わせ/例会:(4/10・24,5/8・22,6/5・19,7/14,8/18・30,9/11,10/15,
11/21,12/22,1/26,2/23,3/11)

また、水島港まつりでの七夕飾りの出展(8/2-3)、「みずしま夢 Koi・Koi!」実行委員会への委員参加、「水島を考える会」への参加(12/2)等を通じ、地域や行政とのつながりを強化する活動をおこなった。

みずしま夢 Koi・Koi!」実行委員会(4/15,5/21,6/12・23,7/17,8/20,9/17,
10/17,11/19,1/16,2/16)

市民参加・パートナー育成

中国・四国地域を対象にして、環境・まちづくり活動に関わる市民が組織運営・協働など活動を推進する体制について学ぶことを支援する事業として、地球環境基金の委託事業2つを実施した。

「つどい」では、広告プランナーの中西紹一氏((有)プラス・サーキュレーション・ジャパン代表)を講師に迎えて、「環境保全活動を伝え、共感を得るためのコミュニケーション術」について学び、思い出と活動をつなぐ、「オモイダス装置」としてのプロモーション映像づくりを行った。「組織運営講座」でも、中西氏を講師に「ワークショップとは何か?」という理論と「イメージを形にするワークショップのデザイン」についての講義の後、実践編として、会場である閑谷学校の「学びを商品化する」というテーマで、プロモーション映像づくりを行った。いずれも、普段とは少し異なった形式のワークショップとなり、参加者からも非常に高い評価を得ていた。

- ・「環境 NGO と市民のつどい 中国四国ブロック - つくる・つながる・参加する 環境保全活動を伝え、共感を得るためのコミュニケーション術」

2009年1月10日(土) おかやまコンベンションセンター

参加者:94名

ゲスト講師:中西紹一氏((有)プラス・サーキュレーション・ジャパン代表)

コーディネーター:高田 研氏(都留文科大学教授)

- ・「環境 NGO のための組織運営講座 広告プランナーに学ぶ 共感を得る企画づくり実践講座」

2009年1月31日-2月1日(土,日),岡山県青少年教育センター閑谷学校

参加者:30名

ゲスト講師:中西紹一氏((有)プラス・サーキュレーション・ジャパン代表)

コーディネーター:高田 研氏(都留文科大学教授)

2 公害経験の継承と被害者支援

水島地域でおきた大気汚染公害の経験を伝えていき、同じ過ちを犯さないよう国内外に情報発信をおこなっていく。

また、高齢化している公害患者のQOL向上にむけ、調査研究および実践をおこなっていく。(中長期計画目標)

資料保存・活用

全国公害患者の会連合会がおこなう公害経験・まちづくりの情報発信事業への協力をおこなった。この事業により、中国・韓国の状況を把握するとともに、それら国への情報発信や資料の活用について検討する機会となった。また、患者会はもとより、各地の環境再生・まちづくりをおこなう団体との連携をとることができた。

「環境再生まちづくりマップの活用」(6/14 於：名古屋)での報告

報告会「公害経験と環境再生そのアジアへの発信」(9/21 於：倉敷)での報告

全国公害患者の会連合会まちづくり委員会へ参加(5/30,6/14,7/18,10/24,12/15,3/16)

公害患者のQOL,ADLの向上

『平成20年度高齢認定患者リハビリテーションプログラムの開発に関する調査研究業務』における呼吸ケアプログラム検討事業((財)公害地域再生センター)の事業一部の委託を受け、地域連携をめざした検討会の開催や講演会の開催を共同でおこなった。

・講演会「息切れと『うまくつきあうコツ』教えます - 呼吸リハビリへのご招待 - 」

3月24日(火)午後 水島公民館 講師：千住秀明氏ほか 参加者：45人

・講演会「気管支喘息・COPDのリハビリテーション

- 包括的呼吸ケアの「最前線」と地域連携の課題 - 」 参加者：75人

3月24日(火)夜 暮らし健康福祉プラザ 講師：千住秀明氏, 難波一弘氏ほか

地域連携による包括的呼吸ケアをすすめる高齢認定患者リハビリテーションプログラムに関する検討会(1/21,2/16,3/24)

打合せ(4/3,5/29,6/26,7/31,8/21,9/25,11/13,12/3,15,1/14,2/9,3/2)

さらに、公害患者対象として和解成立日記念の講演会&コンサートを開催し、咳など気にせず音楽を楽しみ、また水島の環境やまちづくりについてあらためて考える場とした。今回は、水島まちづくり研究ワーキンググループの企画・運営として実施し、また患者会の活動紹介スペースを設置するなど広がりをもつように工夫をした。

「和解成立日記念イベント 講演会＆コンサート」

12月23日(火・祝) 水島協同病院講堂 参加者：40人

講演会「倉敷公害の記憶」講師：栗本泰治氏

コンサート：倉敷管弦楽団四重奏

3 公害環境学習

地域の現状に即した内容での講座開催をおこなうとともに、地域の資源を活用した公害・環境学習をおこなっていく。これらは、収益事業として行うと同時に、調査研究を地域へ還元するというのも念頭におき実施する。(中長期計画目標)

公害・環境学習プログラム

平成19年度から作成していたアマモ場や漁村体験をテーマにした海域を活用した環境学習プログラムとその手引き書を検討会や体験学習を通じて作成するとともに、既存のプログラムの活用をはかった。

また、あわせて視察受け入れや講演活動も随時行った。

* 体験学習会の実施

6月15日(日)「『海のゆりかご』アマモ場を見に行こう！」観察会(於：児島味野湾，
豎場島)開催 参加者：22名(スタッフ等除く)

3月1日(日)「『瀬戸内海』を見に行こう！ - 漁業体験と海底ゴミ調査ツアー - 」(於：
寄島)開催 参加者：25名(スタッフ等除く)
(オプションツアー 玉島魚市場せり市見学(3/2)実施)

* 講師派遣

6月17日(火)「海底ゴミをなくすために」講演会(主催：浅口市立寄島中学校)

7月10日(木)「フードマイレージ買い物ゲーム」講演会(主催：倉敷医療生協 公害
環境委員会)

8月21日(木)水島図書館講演会「倉敷の海を知っていますか？」(主催：倉敷市立水
島図書館)

9月29日(月)「フードマイレージ買い物ゲーム」講演会(主催：生活協同組合おかや
まコープ 倉敷地域)

10月7日(火)「キャリア1 社会人教育」(倉敷南高等学校)

10月24日(金)「フードマイレージ買い物ゲーム」講演会(主催：岡山県生活協同組合
連合会 医療部会 組合員活動交流集会)

12月6日(土)「フードマイレージ買い物ゲーム」講演会(主催：環境学習センター ア

スエコ)

- 1月23日(金)「八間川ってどんな川？」講演会(主催:倉敷市立福田中学校)
- 1月24日(土)「フードマイレージ買い物ゲーム」講演会(主催:おかやま医療生協)
- 2月13日(金)「今、瀬戸内海で起きていること～海にあるごみは私たちのすてたゴミ～」講演会(主催:倉敷市立福田中学校)
- 3月7日(土)「フードマイレージ買い物ゲーム」講演会(主催:生活協同組合おかやまコープ 岡山東地域)
- 3月18日(水)環境講演会「みずしま財団の取り組み～環境再生・まちづくりとは～」(主催:岡山県立矢掛高等学校)

* 視察の受け入れ・協力

- 7月27日(日)・2月11日(水)山陽女子高等学校(於:寄島町)(体験学習協力)
- 7月31日(木)吉備国際大学政策マネジメント学部(視察受け入れ)
- 8月28日(木)立命館大学政策科学部(視察受け入れ)
- 9月29日(月)島根大学法文学部経済分野学生教育研修(視察受け入れ)
- 11月20日(木)岡山県高等学校教育研究会地理分科会(視察受け入れ)
- 11月24日(月・祝)ユースチャレンジ21会議(主催:岡山県青少年課)(視察受け入れ)
- 2月21日(土)「市民のための環境アセスメント講座」(主催:独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金 企画運営:(財)公害地域再生センター)(現地視察協力)

講座

講座に関しては、「備讃瀬戸沿岸域の環境把握業務」(委託元:国土交通省)の事業公募が採択されたことと、岡山NPOセンターから、倉敷市主催のまちづくり人材養成講座の環境編を瀬戸内海について行いたいとの依頼があったため計画を変更しておこなった。

「備讃瀬戸沿岸域の環境把握業務」では、「海辺の自然学校 in 笠岡」と題した小学生向けの体験学習を開催した。この事業の実施にあたり、笠岡市内で活動をおこなう団体との連携をもつことができた。

8月24日(日)「船に乗って海に出よう 集まれ!!海の調査隊」 参加者:52名

10月12日(日)「海辺の自然学校 in 笠岡」

参加者:53名(就学児童33名,未就学児童1名,保護者19名)

さらに、広く、身近に環境問題を知ってもらうイベントとして、キャンドルナイトイベントや、七夕イベントをおこなった。

6月19日(木)おうちでるんるんだんらんキャンドルナイト&廃油キャンドルづくり

7月7日(月)短冊に願いをこめて、私のエコ宣言

4 情報発信と収集

地域の情報コーナーとしての役割を担うためにも、常日頃から情報の収集と発信につとめていく。(中長期計画目標)

情報発信

ホームページでの情報発信を整備し、充実させた。また、年6回の「みずしま財団たより」の発行や、FMくらしきでの情報発信もおこなった。

ホームページをみて聞き取り調査に訪れる機関などもあるなど、情報発信の重要なツールになっている。

また、みずしま財団たよりは、年6回発行し、地域の労働実態を特集するなど、地域の今にあわせた情報を提供できるよう紙面づくりを工夫した。

* たよりの発行

42号(5月発行) 特集「みずしま財団の公害・環境学習」

43号(7月発行) 特集「水島のまちづくりの推進体制構築に向けて」

44号(9月発行) 特集「二酸化窒素測定調査について」

45号(11月発行) 特集「みずしま財団と『第26回日本環境会議』の開催」

46号(1月発行) 特集「EMECS8『第8回世界閉鎖性海域環境保全会議』に参加して」

47号(3月発行) 特集「水島コンビナートの現状と労働実態」

FMくらしきにおいては、毎週1回金曜日「みみみみずしま財団 エコらぼ Friday」,(9月までは16:40頃から、10月からは15:45頃から、10分程度の出演番組を持ち、地域や環境に関する情報を提供するとともに、みずしま財団のイベント紹介などをおこなった。番組提供をしているため、番組終了時にクレジットがはいっている。

なお、5週目がある月については、(財)公害地域再生センターからの情報を提供した。

* FMくらしき「みみみみずしま財団エコらぼ Friday」

毎週金曜日 15:40～ 約15分間放送

4月 テーマ「水島はっけん！」

5月 テーマ「みずしま財団の公害・環境学習」

6月 テーマ「みずしま財団の環境月間のイベント紹介」

7月 テーマ「夏休み直前情報」

8月 テーマ「夏休みの宿題に役立つちょっとした情報特集」

9月 テーマ「日本環境会議水島大会特集」

10月 テーマ「国際交流と海外への情報発信」

11月 テーマ「つくる・つながる・参加する」

12月 テーマ「昨年もやりましたが地球環境基金って？2008年度版！」

- 1月 テーマ「新年にあたって」
- 2月 テーマ「水辺について」
- 3月 テーマ「春」

その他、随時、倉敷市記者クラブへの情報提供等と行い、新聞等マスコミを通じての情報発信、また各イベント等に出展し、情報発信をおこなっている。

- ・ 世界保健デー 健康チェック（主催：倉敷医療生活協同組合）での展示（4/7）
- ・ GREENDAY2008（主催：GREENDAY2008 実行委員会）に出展（4/19）
- ・ 生き生きフェスタ（主催：生き生きフェスタ実行委員会）に出展（5/4）
- ・ リサイクルフェア（主催：倉敷市）に出展（6/1）
- ・ イオン倉敷での環境展示（主催：倉敷市）に出展（6/7-8）
- ・ 倉敷一番街ふっかつ祭りでの環境展示に出展（6/8）
- ・ 倉敷市環境月間行事 展示会（主催：倉敷市）に出展（6/28）
- ・ 高梁環境フェアに参加・展示（10/4-5）
- ・ 「山口いきいきフェア」に参加・展示（10/18）
- ・ エコフェスタおかやま（主催：岡山県ほか）に出展（11/30）
- ・ 環境 NGO と市民のつどい（主催：地球環境基金）で活動報告（1/10）
- ・ 「STOP 温暖化 くらしき 2009」展示（1/11）

情報収集

各事業において情報の収集を行うとともに、それら情報を整理するための方策を検討した。あわせて、事務所の整理を行い、より使いやすい情報提供の場をめざした。しかし図書整理等が不十分であり、今後の課題として残った。

また、賛助会員については以下の通り。

		個人会員 (1口1,000円 2口以上)	団体会員 (1口10,000円 1口以上)	法人会員 (1口10,000円 2口以上)
平成20 年度	口数	396口(140人)	21口(17団体)	23口(9法人)
	金額	396,000円	210,000円	230,000円
目標	口数	300口(150人)	30口(30団体)	60口(30法人)
	金額	300,000円	300,000円	600,000円

組織運営について

5 外部とのかかわり

円滑な事業実施をおこなうために、また効果的な組織運営をおこなうために、みずしま財団以外の組織とも十分な関わりをもっていく必要がある。そのためには、企業、行政、大学・専門家、地域の教育機関、インターン・ボランティア、賛助会員、その他団体との連携を強化する。(中長期計画目標)

企業、行政、大学・専門家、地域の教育機関、その他の団体等については、各事業において、それぞれ関わりをつくってきたが、不十分な点が多いので(特に企業)、それらは今後の課題である。

また、ボランティアの受け入れ体制を整え、定期的にボランティアとして関わってもらうことができた。インターンについては受け入れ希望がなかったため、今後受け入れ希望があるよう働きかけをしていく必要がある。

なお、外部とのかかわりにおいて、みずしま財団が参加しているものは以下の通り。

- ・ 中四国環境教育ミーティング実行委員会
- ・ 倉敷市地方自治研究集会
- ・ 倉敷まちづくりネットワーク
- ・ 暮らしきパートナーシップ推進ひろば
- ・ おかやま環境フォーラム自然環境部会
- ・ おかやま環境ひろば
- ・ GREENDAY 実行委員会
- ・ 吉備の国地球温暖化対策協議会
- ・ 岡山県地方自治研究集会
- ・ 備中国地域づくり交流会
- ・ STOP 温暖化暮らしき実行委員会

6 組織基盤

事業実施・組織運営において、効果的に行うための内的要因としては、資金、組織・人材、施設・設備、経営・運営力の4つがあげられる。それぞれについて、自立した運営をするために工夫をおこなう。(中長期計画目標)

理事会、評議員会といった機関会議を開催するとともに、従来、日常業務についての情報を常勤・非常勤の間で共有するとともに、公益法人改革や組織運営など議論するなど組織基盤整備事業を担っていた拡大事務局会議を5月で終了し、かわって、理事・評議員を中

心として組織した「組織検討委員会」「事業検討委員会」「合同委員会」の開催をおこなうこととした。「組織検討委員会」では、公益法人改革への対応を検討し、「事業検討委員会」では、財務の中長期計画を含む財団運営の適正化・健全化にむけた事業方針について検討しつつある。それら両委員会の議論について共有するための「合同委員会」も設置した。公益法人改革への取り組みは、情報収集をはじめ、実際の移行への手続きについても検討するなど、一定の成果を示している。財務の中長期計画や事業の重点化等については、今後のさらなる課題としてある。

また、常勤スタッフの日常業務の円滑な推進のための、事務局打ち合わせを、原則、毎週木曜日（10:00～12:00）に行った。

* 機関会議

理事会：4回開催した。

2008年6月28日（土）第26回理事会（通常会）…平成19年度事業報告，決算報告

2008年7月21日（月・祝）第27回理事会（臨時会）…理事長および専務理事互選

2008年11月29日（土）第28回理事会（臨時会）…上半期の決算・進捗状況

2009年3月28日（土）第29回理事会（通常会）…平成20年度補正予算，平成21年度事業計画及び予算

評議員会：3回開催した

2008年6月7日（土）第21回評議員会（通常会）…平成19年度事業報告及び決算報告

2008年11月15日（土）第22回評議員会（臨時会）…上半期の決算・進捗状況

2009年3月14日（土）第23回評議員会（通常会）…平成20年度補正予算，平成21年度事業計画及び予算

* 組織基盤整備事業

拡大事務局会議（5/24）

組織検討委員会（8/31，1/16）

事業検討委員会（9/15，12/13，1/24）

合同委員会（10/25，2/7）

以上